

## 2 成人・老人保健

本市では市民の健康の保持・増進を図るため、健康増進法第 17 条第 1 項及び第 19 条の 2 に基づき、健康相談、健康教育、各種がん検診等の健康増進事業を実施している。

また、健康増進法に基づく事業以外に、胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を実施している。

### (1) 大津市がん対策推進基本計画

「大津市がん対策推進条例」に基づき、がんの予防及び早期発見の推進をはじめ、療養生活の質的向上及びがん患者とその家族への支援などのがん対策について総合的かつ計画的に推進するために、この計画が策定された。

#### ① がん対策推進委員会

がん対策推進条例の規定に基づき設置。年 2 回程度開催し、がん対策の現状や課題、あり方について調査、審議し、計画の進捗を管理している。

#### ② アピアランスケア支援事業

平成 30 年 10 月から開始。がん患者の療養生活の質的向上のため購入する補整用具（ウィッグ・帽子）の購入に係る費用を助成している。

・助成対象者

抗がん剤治療等の副作用による脱毛症状に対処するためにウィッグや帽子を購入し、現にがん治療を受けている、又は過去にがん治療を受けていた市民

・助成金額 補整用具の購入に要した費用に相当する額と、10,000 円のいずれか少ない方の額

・申請条件 助成対象者 1 人につき、生涯 1 回限り

・申請状況

(令和 4 年度)

合計	男性	女性
144 人	4 人	140 人

#### ③ 民間企業との連携によるがん対策推進事業

働く世代へのがん対策推進の取組の一環として、市内の小規模事業所 2,000 か所を対象に、がん検診の受診状況等に関する実態調査を実施。本調査において、事業主や従業員のがん予防、がん罹患後の仕事と治療の両立等に関する相談の意向があると回答した事業所については、保健師や社会保険労務士による相談支援につなげた。

また、「大津市働く世代のがん対策推進会議」において、関係機関でのがん対策に関する取組状況を共有するとともに、今後の取組の方向性について協議した。（令和 5 年 2 月 7 日開催）

### (2) 健康手帳の交付

健(検)診の記録や保健指導の記録等を記載し、自らの健康管理に役立てるために、おおむね 40 歳以上の希望者に対して健康手帳を交付している。

健康手帳交付状況 (令和 4 年度)

交付数
451 冊

### (3) 健康教育

生活習慣病や疾病の予防、介護を要する状態となることの予防、その他健康に関する事項について正しい知識の普及を図るとともに、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的に各すこやか相談所において健康教育を実施している。

各すこやか相談所において地域住民を対象に地域の健康課題に応じた健康教育を企画し、実施している。

また、各学区の地域組織や各種団体の依頼に応じ、生活習慣病予防等の健康教育を市民センターや地域自治会館等において実施している。

集団健康教育実施状況（令和4年度）

〈健康増進事業〉

（単位：回・人）

区 分	合 計	骨粗鬆症予防	健康増進	メタボリックシンドローム	食生活	がん予防	生活習慣病予防	禁 煙	他の疾病予防
開催回数	48	12	4	-	-	16	14	-	2
参加延人数	1,055	233	113	-	-	216	427	-	66

〈介護予防普及啓発事業〉

（単位：回・人）

区 分	合計	介護予防	転倒予防	食生活	口腔ケア	がん予防	閉じこもり予防	認知症予防	健康づくり	骨粗鬆症	地域づくり	生活習慣病予防	他の疾病予防
開催回数	51	14	7	5	4	-	-	-	4	4	1	3	9
参加延人数	1,006	213	140	131	48	-	-	-	78	104	18	66	208

(4) 健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行うことにより、生活習慣病や疾病の予防及び健康の保持増進を図っている。各すこやか相談所においては、毎日（祝祭日及び土、日を除く）健康相談室を開設し、市民の健康に関する相談に応じている。また、地域によっては、市民センターでの健康推進課相談日を設けている。さらに地域からの依頼により、各学区老人クラブ等を対象とした健康相談も実施している。

健康相談実施状況（令和4年度）

（単位：回・人）

相談方法	実施回数	相談延人数				相談延件数											
		母子	成人・老人	精神	合計	母子					成人・老人				精神	合計	
						乳児	幼児	妊産婦	思春期	小計	重点	64歳以下	65歳以上	小計			
来所相談	すこやか	1,701	2,672	122	112	2,906	3,482	1,256	68	3	4,809	-	43	101	144	120	5,073
	学区定例	48	304	3	1	308	538	184	6	-	728	-	2	1	3	1	732
	老人クラブ	25	-	300	-	300	-	-	-	-	-	-	19	302	321	-	321
	その他	106	792	161	-	953	470	739	1	-	1,210	41	26	94	161	-	1,371
	小計	1,880	3,768	586	113	4,467	4,490	2,179	75	3	6,747	41	90	498	629	121	7,497
	電話相談		1,269	91	1,527	2,887	919	472	126	15	1,532	-	62	33	95	1,557	3,184
	合計	1,880	5,037	677	1,640	7,354	5,409	2,651	201	18	8,279	41	152	531	724	1,678	10,681

(5) 訪問指導

療養上の保健指導が必要と認められる者及びその家族等に対して、各すこやか相談所の保健師等が家庭を訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図っている。健康増進法に基づく訪問指導は、40歳から64歳までの市民が対象となっている。

（令和4年度）

訪問実人数(人)	78	訪問延人数(人)	78
----------	----	----------	----

(6) 肝炎ウイルス検診

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、市民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて医療機関を受診することにより、肝炎による健康障害の回避、症状の軽減、又は進行の遅延を図ることを目的として、肝炎ウイルス検診を実施している。事業を開始した平成14年度は老人保健法に基づき実施し、平成20年度からは健康増進法に基づき実施している。

平成23年度から、国の「肝炎ウイルス検診等実施要領」の一部改正により、個別受診勧奨として、年度年齢41歳から61歳の5歳刻みの節目年齢で、過去に肝炎ウイルス検診を受診していない者に対して無料クーポン券を送付している。また、平成28年度からは検診初年度となる年度年齢40歳の者に対し無料クーポン券を送付し、受診促進を図っている。

さらに、平成29年度から、従来の医療機関委託による個別方式に加え、集団特定健康診査と同時実施による集団方式を実施しており、受診機会の拡大を図っている。

- ・対象者 当該年度において40歳以上の市民で、以下のいずれかに該当する者。原則生涯に1回。
  - ア 過去に肝炎ウイルス検診を受診したことがない者
  - イ 特定健診及びその他の法令に基づき行われる特定健診に相当する健康診断の結果において、肝機能検査の数値のうち、いずれか1つでも保健指導判定値であった者
- ・実施方法 医療機関委託による個別方式及び集団特定健康診査と同時実施による集団方式
- ・検査内容 B型肝炎ウイルス検診及びC型肝炎ウイルス検診

・検診料 1,000円

(ただし、無料クーポン券交付者、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

・実施方法別受診者数

個別方式 1,070人 集団方式 365人 (20回実施)

・無料クーポン券利用状況

対象者数 22,095人 利用者数 1,004人 利用率 4.5%

年齢別性別検診結果

(単位：人)

区 分		総 数		40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70歳以上		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数		1,435	604	831	155	346	70	105	88	103	74	75	116	130	43	37	58	35
検診結果	B型																	
	陽性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	陰性	1,435	604	831	155	346	70	105	88	103	74	75	116	130	43	37	58	35
C型																		
	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」	1,433	602	831	155	346	70	105	88	103	74	75	116	130	43	37	56	35

(7) がん検診

がん検診は、老人保健法に基づく健康診査として実施(補助金による財源措置)し、平成10年度からは老人保健法に基づく健康診査から除かれ、一般の疾病対策の一環として実施していた。平成20年度より健康増進法に基づく健康増進事業として位置づけられ、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針について」に基づき実施(地方交付税による財源措置)している。

① 胃がん検診

胃がんの罹患率、死亡率は減少傾向ではあるが、男女ともにがんによる死亡の上位を占めている。本市では、胃がんを早期発見・早期治療することで、胃がんの死亡率を減少させることを目的として胃がん検診を実施している。集団方式による胃部エックス線検査に加え、平成30年2月からは胃内視鏡検査を医療機関委託により個別方式でも実施している。

胃がん検診結果（胃部エックス線検査及び胃内視鏡検査 合計）（単位：人・％）

	全年齢			（再掲）50～69歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数 （再掲）国保加入者	108,883 (51,247)	42,722 (23,417)	66,161 (27,830)	33,469 (23,520)	12,708 (10,349)	20,761 (13,171)
受診者数	2,379	999	1,380	1,174	444	730
受診率	2.8	3.0	2.6	4.5	4.5	4.4
要精検者数	172	94	78	68	34	34
要精検率	7.2	9.4	5.7	5.8	7.7	4.7
精検受診者数	167	91	76	64	32	32
精検受診率	97.1	96.8	97.4	94.1	94.1	94.1
胃がん	5	3	2	1	-	1
がん発見率	0.21	0.30	0.14	0.09	-	0.14

※精密検査受診結果については令和5年7月4日現在

※対象者数＝年度当初人口-就業者数（令和2年国勢調査）+農林水産業従事者数（令和2年国勢調査）

※胃内視鏡検査の受診間隔が2年度に1回のため、胃がん検診全体の受診率は以下の方法で受診率を算出する。

（「前年度の内視鏡受診者数」＋「当該年度の内視鏡・エックス線受診者数」－「連続受診者数」）／（当該年度の対象者数）×100

ア. 胃部エックス線検査

対 象 者 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回

実施方法 検診機関委託による集団方式

各学区市民センター等において実施：53回

検査内容 バリウムによる胃部エックス線検査

検 診 料 1,600円

（ただし、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

胃部エックス線検査結果（令和5年7月4日現在）

（単位：人・％）

	全年齢			（再掲）50～69歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数 （再掲）国保加入者	108,883 (51,247)	42,722 (23,417)	66,161 (27,830)	33,469 (23,520)	12,708 (10,349)	20,761 (13,171)
受診者数 （再掲）国保加入者	1,336 (785)	580 (397)	756 (388)	555 (388)	220 (187)	335 (201)
受診率	1.2	1.4	1.1	1.7	1.7	1.6
要精検者数	95	49	46	35	15	20
要精検率	7.1	8.4	6.1	6.3	6.8	6.0
精検受診者数	90	46	44	31	13	18
精検受診率	94.7	93.9	95.7	88.6	86.7	90.0
胃がん	1	1	-	-	-	-
がん発見率	0.07	0.17	-	-	-	-

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和5年7月4日現在)

(単位:人・%)

区分	総数	40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70歳以上				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
受診者数	1,336	580	756	19	84	40	99	36	92	29	56	43	66	112	121	301	238	
(再掲)初回受診者数	616	242	374	14	62	26	66	20	60	19	33	30	40	53	43	80	70	
	初回受診割合	46.1	41.7	49.5	73.7	73.8	65.0	66.7	55.6	65.2	65.5	58.9	69.8	60.6	47.3	35.5	26.6	29.4
検診結果	精検不要者数	1,241	531	710	17	82	37	95	32	82	25	53	42	64	106	116	272	218
	要精検者数	95	49	46	2	2	3	4	4	10	4	3	1	2	6	5	29	20
	要精検率	7.1	8.4	6.1	10.5	2.4	7.5	4.0	11.1	10.9	13.8	5.4	2.3	3.0	5.4	4.1	9.6	8.4
精検受診者数	90	46	44	2	2	3	4	4	10	3	3	1	1	5	4	28	20	
精検受診者数	胃がん	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	胃がん以外の疾患	78	36	42	2	2	1	3	4	10	2	3	-	1	4	4	23	19
	異常なし	11	9	2	-	-	2	1	-	-	1	-	1	-	1	-	4	1

イ. 胃内視鏡検査

対象者 当該年度において50歳以上の偶数年齢の市民で2年度に1回

実施方法 医療機関委託による個別方式

検査方法 胃内視鏡検査

検診料 4,000円

(ただし、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

胃内視鏡検査結果(令和5年7月4日現在)

(単位:人・%)

	全年齢			(再掲)50～69歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	108,883	42,722	66,161	33,469	12,708	20,761
(再掲)国保加入者	(44,625)	(19,879)	(24,746)	(23,520)	(10,349)	(13,171)
受診者数						
当該年度	1,043	419	624	619	224	395
(再掲)国保加入者	(614)	(271)	(343)	(336)	(141)	(195)
前年度受診者	673	308	365	352	139	213
連続受診者数	57	22	35	33	9	24
受診率	1.5	1.7	1.4	2.8	2.8	2.8
要精検者数	77	45	32	33	19	14
要精検率	7.4	10.7	5.1	5.3	8.5	3.5
精検受診者数	77	45	32	33	19	14
精検受診率	100	100	100	100	100	100
胃がん	4	2	2	1	-	1
がん発見率	0.38	0.48	0.32	0.16	-	0.25

※胃内視鏡検査は、受診間隔が2年度に1回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「連続受診者数」) / (当該年度の対象者数) × 100

※「連続受診者」とは、前年度及び当該年度において、2年度続けて胃がん検診(エックス線又は内視鏡)を受診した者をいう。

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和5年7月4日現在)

(単位：人・%)

区 分	総 数		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数	1,043	419	624	66	147	14	34	68	128	76	86	195	229
(再掲) 初回受診者数	815	317	498	60	138	13	27	57	105	54	61	133	167
初回受診割合	78.1	75.7	79.8	90.9	93.9	92.9	79.4	83.8	82.0	71.0	70.9	68.2	72.9
検診結果													
精密検査不要者数	966	374	592	62	142	11	33	62	125	70	81	169	211
要精密検査者数	77	45	32	4	5	3	1	6	3	6	5	26	18
生検受診者数	77	45	32	4	5	3	1	6	3	6	5	26	18
生検率	7.4	10.7	5.1	6.1	3.4	21.4	2.9	8.8	2.3	7.9	5.8	13.3	7.9
検診時生検未受診のうち要再検査者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精密検査受診者数	77	45	32	4	5	3	1	6	3	6	5	26	18
精密検査結果													
胃がん	4	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	2	1
胃がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
胃がん以外の疾患	47	28	19	2	2	1	1	3	3	2	3	20	10
異常なし	26	15	11	2	2	2	-	3	-	4	2	4	7

② 大腸がん検診

高齢化の影響もあり、大腸がんの死亡者数は増加傾向にある。そこで本市では大腸がんを早期発見・早期治療することで、大腸がんの死亡率の減少を図ることを目的に大腸がん検診を実施している。平成2年度から老人保健法に基づき実施し、平成5年度からは医療機関に委託して実施している。平成30年度より集団特定健康診査と同時実施による集団方式を実施するとともに、令和4年度は5がんセット検診を実施し、受診機会の拡大を図っている。

**対象者** 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回

**実施方法** 医療機関委託による個別方式及び検診機関委託による集団方式

**検査方法** 便潜血検査（免疫便潜血検査2日法、OCセンサー方式）

**検診料** 800円

（ただし、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

**実施方法別受診者数**

個別方式 14,212人    集団方式 1,869人（25回実施）

大腸がん検診結果

(単位：人・%)

	全 年 齢			(再掲) 40～69 歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	108,883 (51,247)	42,722 (23,417)	66,161 (27,830)	45,920 (30,142)	17,456 (13,887)	28,464 (16,255)
受診者数	16,081 (9,682)	5,912 (3,872)	10,169 (5,810)	7,702 (5,002)	2,416 (1,924)	5,286 (3,078)
受診率	14.8	13.8	15.4	16.8	13.8	18.6
要精密検査者数	815	357	458	317	117	200
要精密検査率	5.1	6.0	4.5	4.1	4.8	3.8
精密検査受診者数	669	285	384	252	87	165
精密検査受診率	82.1	79.8	83.8	79.5	74.4	82.5
大腸がん	42	21	21	13	7	6
がん発見率	0.26	0.36	0.21	0.17	0.29	0.11

※精密検査受診結果については令和5年7月4日現在

※対象者数＝年度当初人口-就業者数（令和2年国勢調査）+農林水産業従事者数（令和2年国勢調査）

※精密検査受診者数及び受診率については、原則指針に基づいた精密検査方法で実施しているもののみ計上する。

※（ ）（再掲）大津市国民健康保険の被保険者

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和5年7月4日現在)

(単位：人・%)

区分	総数		40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70歳以上				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
受診者数	16,081	5,912	10,169	223	535	248	528	318	716	276	652	453	1,091	898	1,764	3,496	4,883		
(再掲)初回受診者数	4,609	1,760	2,849	140	360	111	248	129	327	103	220	209	373	303	432	765	889		
	28.7	29.8	28.0	62.8	67.3	44.8	47.0	40.6	45.7	37.3	33.7	46.1	34.2	33.7	24.5	21.9	18.2		
検診結果	精検不要者数	15,266	5,555	9,711	212	509	241	499	309	688	256	635	426	1,053	855	1,702	3,256	4,625	
	要精検者数	815	357	458	11	26	7	29	9	28	20	17	27	38	43	62	240	258	
	要精検率	5.1	6.0	4.5	4.9	4.9	2.8	5.5	2.8	3.9	7.2	2.6	6.0	3.5	4.8	3.5	6.9	5.3	
精検受診者数	669	285	384	10	20	7	22	6	24	17	15	16	32	31	52	198	219		
精密検査結果	大腸がん	早期がん	18	9	9	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	2	6	7	
		進行がん	21	11	10	-	-	-	-	1	2	1	1	1	1	-	7	6	
		進行期不明	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	
	ポリープ	腺腫性	341	170	171	3	3	6	6	3	10	5	5	8	12	19	22	126	113
		過形成性	46	22	24	-	4	-	-	1	1	1	-	4	4	2	5	14	10
		その他	7	3	4	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	2	1
	潰瘍性大腸炎	3	1	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	
	その他炎症性腸疾患	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	憩室	41	14	27	-	1	-	2	-	-	1	3	-	2	2	4	11	15	
	痔核	49	13	36	-	5	-	4	-	4	3	1	1	3	3	5	6	14	
	その他	29	8	21	-	-	-	2	-	2	1	-	1	2	-	-	6	15	
	異常なし	109	31	78	4	6	1	8	1	5	4	3	-	7	3	13	18	36	

③ 肺がん結核検診

我が国のがんによる死亡者数は、現在、肺がんが最も多く、その罹患率は年々増加傾向にある。そこで本市では、肺がんを早期発見・早期治療することで、肺がんの死亡率を減少させることを目的に、平成22年10月より肺がん検診を実施している。また、結核については、住民結核検診として65歳以上の者を対象に検診車による集団検診を実施していたが、平成26年度に肺がん検診に統合し、肺がん結核検診として、近くの実施医療機関で受診できるよう個別方式に変更した。平成29年度より集団特定健康診査と同時実施による集団方式を実施するとともに、令和4年度には5がんセット検診及び高齢者の結核対策として地域巡回型の集団検診を実施し、受診機会の拡大を図っている。

**対象者** 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回

**実施方法** 医療機関委託による個別方式及び検診機関委託による集団方式

**検査内容** 胸部エックス線検査、喀痰細胞診（対象者に条件あり。個別方式のみ）

**検診料** 胸部エックス線検査800円 喀痰細胞診1,000円

（ただし、70歳以上（胸部エックス線検査については65歳以上）の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

実施方法別受診者数

個別方式 16,161人 集団方式 1,913人（27回実施）

肺がん結核検診結果

(単位：人・%)

	全 年 齢			(再掲) 40～69 歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	108,883 (51,247)	42,722 (23,417)	66,161 (27,830)	45,920 (30,142)	17,456 (13,887)	28,464 (16,255)
受診者数	18,074 (10,804)	6,930 (4,505)	11,144 (6,299)	7,511 (5,472)	2,522 (2,238)	4,989 (3,234)
受診率	16.6	16.2	16.8	16.4	14.4	17.5
要精検者数	1,286 [941]	563 [403]	723 [538]	376 [275]	157 [109]	219 [166]
要精検率	7.1 [5.2]	8.1 [5.8]	6.5 [4.8]	5.0 [3.7]	6.2 [4.3]	4.4 [3.3]
精検受診者数	1,204 [891]	521 [380]	683 [511]	354 [262]	143 [102]	211 [160]
精検受診率	93.6 [94.7]	92.5 [94.3]	94.5 [95.0]	94.1 [95.3]	91.1 [93.6]	96.3 [96.4]
肺がん	9 [9]	6 [6]	3 [3]	2 [2]	1 [1]	1 [1]
がん発見率	0.05	0.09	0.03	0.03	0.04	0.02

※精密検査受診結果については令和5年7月4日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(令和2年国勢調査)+農林水産業従事者数(令和2年国勢調査)

※( ) (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

※[ ]内の数字はE判定の結果(E判定:X線検査及び喀痰細胞診の結果、肺がんを疑うもの)

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和5年7月4日現在)

(単位：人・%)

区 分	総 数	40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
受診者数	18,074	6,930	11,144	178	419	235	472	309	631	290	589	461	1,021	1,049	1,857	4,408	6,155
(再掲) 喀痰検査実施者数	1,120	1,010	110	-	-	-	-	29	10	40	6	75	18	164	20	702	56
(再掲) 初回受診者数	4,508	1,711	2,797	93	263	79	193	105	279	95	200	191	339	338	467	810	1,056
初回受診割合	24.9	24.7	25.1	52.2	62.8	33.6	40.9	34.0	44.2	32.8	34.0	41.4	33.2	32.2	25.1	18.4	17.2
検診結果																	
精検不要者数	16,788	6,367	10,421	171	414	230	459	296	617	268	568	436	964	964	1,748	4,002	5,651
要精検者数	1,286	563	723	7	5	5	13	13	14	22	21	25	57	85	109	406	504
精検率	7.1	8.1	6.5	3.9	1.2	2.1	2.8	4.2	2.2	7.6	3.6	5.4	5.6	8.1	5.9	9.2	8.2
(再掲) E判定者数	941	403	538	3	4	4	9	12	10	17	16	17	45	56	82	294	372
E判定率	5.2	5.8	4.8	1.7	1.0	1.7	1.9	3.9	1.6	5.9	2.7	3.7	4.4	5.3	4.4	6.7	6.0
精検受診者数	1,204	521	683	6	5	5	11	12	13	21	21	22	56	77	105	378	472
精密検査結果																	
原発性肺がん	7	6	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	1
転移性肺がん	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
その他のがん	3	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
がんの疑い	43	22	21	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3	1	1	20	16
その他の肺病変	267	112	155	1	1	-	4	5	3	3	6	8	15	18	32	77	94
肺結核症	19	11	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	9	7
その他	306	129	177	1	1	-	2	2	2	4	4	5	9	16	22	101	137
異常なし	557	239	318	4	2	4	5	5	8	12	10	9	29	41	48	164	216

#### ④ 子宮頸がん検診

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が主な原因とされ、20～30歳代で増加傾向にある。子宮頸がんは早期に治療を行えばほとんどが治癒することから、早期発見が重要となっている。そこで本市では、子宮頸がんを早期発見、早期治療することで、子宮頸がんの死亡率を減少させることを目的に子宮頸がん検診を実施している。

平成10年度までは子宮がん検診として実施してきたが、平成11年度から有症状者を対象とする体部がん検診は医療の範疇として廃止し、子宮頸がん検診のみを実施している。また、平成17年度から、国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い、対象年齢を30歳以上から20歳以上に変更し、受診回数は2年度に1回とした。平成23年度からは、受診機会の拡大を目的に、滋賀県内19市町が集合契約を締結し県内全域の委託医療機関で受診可能となった。令和2年度からは乳がん検診（集団）とのセット検診を実施している。

地方交付税の上乗せとして平成21年度から「女性特有のがん検診推進事業」、平成23年度から「がん検診推進事業」、平成26年度は「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」、平成27年度からは「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」による補助制度を活用し、21歳の前年度未受診者に無料クーポン券を送付している。また、市単独事業として20歳全員に無料クーポン券、22歳～69歳の前年度未受診者に対し、有料受診券を送付することで受診促進を図っている。

**対象者** 当該年度において20歳以上の女性市民で2年度に1回

**実施方法** 県内医療機関委託による個別方式及び検診機関委託による集団方式

**検査内容** 問診、視診、内診、子宮頸部の細胞診

**検診料** 1,600円

（ただし、無料クーポン券交付者、70歳以上の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

#### 子宮頸がん検診結果

（単位：人・％）

	全年齢	(再掲) 20～69歳
対象者数	79,769 (32,025)	42,072 (20,450)
受診者数	11,780 (2,277)	11,056 (1,879)
前年度受診者数	10,193	9,534
連続受診者数	1	1
受診率	27.5	48.9
要精検者数	264	258
要精検率	2.2	2.3
精検受診者数	196	192
精検受診率	74.2	74.4
子宮頸がん	4	4
がん発見率	0.03	0.04

※子宮頸がん検診は、受診間隔が2年度に1回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「連続受診者数」）／（当該年度の対象者数）×100

※精密検査受診結果については令和5年7月4日現在

※対象者数＝年度当初人口－就業者数（令和2年国勢調査）＋農林水産業従事者数（令和2年国勢調査）

※精密検査受診者数及び受診率については、原則指針に基づいた精密検査方法で実施しているもののみ計上する。

※（ ）（再掲）大津市国民健康保険の被保険者

#### 無料クーポン券利用状況

対象者数 3,287人   利用者数 162人   利用率 4.9%

年齢別検診結果及び精密検査受診結果（令和5年7月4日現在）

（単位：人・％）

区 分		総計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	
受診者数		11,780	574	798	1,077	1,378	1,537	1,546	1,399	1,105	940	702	724	
	（再掲）初回受診者	5,078	447	508	559	533	553	562	486	398	351	296	385	
	初回受診割合	43.1	77.9	63.7	51.9	38.7	36.0	36.4	34.7	36.0	37.3	42.2	53.2	
健診結果	精検不要	11,516	546	752	1029	1350	1508	1517	1375	1091	932	698	718	
	要精検者数	264	28	46	48	28	29	29	24	14	8	4	6	
	要精検率	2.2	4.9	5.8	4.5	2.0	1.9	1.9	1.7	1.3	0.9	0.6	0.8	
精検受診者数		196	21	32	33	22	25	24	19	10	3	3	4	
1	扁平上皮がん I b 期～	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
	扁平上皮がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	頸部腺がん I b 期～	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	頸部腺がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	頸部がん(進行期不明)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	頸部がん疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	上皮内腺がん	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	体部内膜がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	体部内膜がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	体部内膜がん(進行期不明)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	異形成高度	19	1	1	5	3	1	3	1	-	-	1	3	
	異形成中等度	15	1	2	1	4	4	2	-	1	-	-	-	
	異形成軽度	85	14	17	18	9	10	7	6	3	-	1	-	
	異形成不明	3	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	
	頸部腺異形成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	細胞診異常	6	-	3	-	-	-	-	1	2	-	-	-	
	内膜異形増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	内膜増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	膣炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	頸管炎	8	-	3	1	-	-	2	1	1	-	-	-	
	頸管ポリープ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	子宮膣部びらん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	卵巣腫瘍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	特記すべき病変なし		54	5	5	7	6	9	8	9	2	2	-	1
	実施方法別内訳	受診者数		11,299	574	798	1,077	1,378	1,471	1,465	1,343	1,036	871	631
初回受診者数			4,753	447	508	559	533	513	511	449	344	300	248	341
初回受診割合			42.1	77.9	63.7	51.9	38.7	34.9	34.9	33.4	33.2	34.4	39.3	52.1
検査結果		精検不要者数	11,040	546	752	1,029	1,350	1,442	1,438	1,319	1,024	864	627	649
		要精検者数	259	28	46	48	28	29	27	24	12	7	4	6
精検受診者数		194	21	32	33	22	25	22	19	10	3	3	4	
精密検査結果		扁平上皮がん I b 期～	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
		扁平上皮がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頸部腺がん I b 期～	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		頸部腺がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頸部がん(進行期不明)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		頸部がん疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		上皮内腺がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		体部内膜がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		体部内膜がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体部内膜がん(進行期不明)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

	異形成高度	19	1	1	5	3	1	3	1	-	-	1	3	
	異形成中等度	15	1	2	1	4	4	2	-	1	-	-	-	
	異形成軽度	85	14	17	18	9	10	7	6	3	-	1	-	
	異形成不明	3	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	
	頰部腺異形成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	細胞診異常	6	-	3	-	-	-	-	1	2	-	-	-	
	内膜異形増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	内膜増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	膣炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	頸管炎	8	-	3	1	-	-	2	1	1	-	-	-	
	頸管ポリープ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	子宮膣部びらん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	卵巣腫瘍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	特記すべき病変なし	53	5	5	7	6	9	7	9	2	2	-	1	
集団 検診	受診者数	481	-	-	-	-	66	81	56	69	69	71	69	
	初回受診者数	325	-	-	-	-	40	51	37	54	51	48	44	
	初回受診割合	67.6	-	-	-	-	60.6	63.0	66.1	78.3	73.9	67.6	63.8	
	検査結果	精検不要者数	476	-	-	-	-	66	79	56	67	68	71	69
		要精検者数	5	-	-	-	-	-	2	-	2	1	-	-
		精検受診者数	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	精密 検査 結果	扁平上皮がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		扁平上皮がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頰部腺がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頰部腺がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頰部がん(進行期不明)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頰部がん疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		上皮内腺がん	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		体部内膜がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		体部内膜がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		体部内膜がん(進行期不明)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		異形成高度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		異形成中等度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		異形成軽度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		異形成不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頰部腺異形成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		細胞診異常	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		内膜異形増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		内膜増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		膣炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頸管炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	頸管ポリープ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	子宮膣部びらん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
卵巣腫瘍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
特記すべき病変なし	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		

## ⑤ 乳がん検診

乳がんは年々増加しており、40歳代後半と60歳代が罹患率のピークになっている。乳がんの罹患率は女性のがんで1位となっているが、早期治療により治癒が可能とされている。そこで本市では、乳がんの早期発見・早期治療により、乳がんの死亡率の減少を図ることを目的に乳がん検診を実施している。

平成13年9月までは30歳以上の女性市民を対象に視触診による乳がん検診を実施してきたが、平成13年10月から、50歳以上の女性市民を対象に視触診・マンモグラフィ併用法を一部導入した。平成17年度から国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い、40歳以上の女性市民を対象とした視触診・マンモグラフィ併用法による乳がん検診に変更し、受診回数は2年度に1回とした。平成29年度からマンモグラフィ単独検診となったことで、集団検診の予約枠数が40人から60人に増加し、平成30年度から集団特定健康診査との同日実施で乳がん検診を実施、令和2年度からは子宮頸がん検診とのセット検診を実施し、受診機会の拡大を図っている。

地方交付税の上乗せとして、平成21年度から「女性特有のがん検診推進事業」、平成23年度から「がん検診推進事業」、平成26年度は「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」、平成27年度からは「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」による補助制度を活用し、41歳の前年度未受診者に無料クーポン券を送付している。また、市の単独事業として、40歳全員に無料クーポン券、年度年齢42～69歳の前年度未受診者に受診勧奨はがきを送付することで受診促進を図っている。

**対象者** 当該年度において40歳以上の女性市民で2年度に1回

**実施方法** 医療機関委託による個別方式及び検診機関委託による集団方式

**検査内容** マンモグラフィ単独法

**検診料** 個別検診で40歳代2,000円、50歳以上1,600円

集団検診で40歳代2,100円、50歳以上1,800円

(ただし、無料クーポン券交付者、70歳以上の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

### 乳がん検診結果

(単位：人・%)

	全年齢	(再掲) 40～69歳
対象者数	66,161 (27,830)	28,464 (16,255)
受診者数	5,022 (1,658)	4,235 (1,183)
前年度受診者数	5,513	4,781
連続受診者数	-	-
受診率	15.9	31.7
要精検者数	436	391
要精検率	8.7	9.2
精検受診者数	409	368
精検受診率	93.8	94.1
乳がん	14	8
がん発見率	0.28	0.19

※乳がん検診は、受診間隔が2年度に1回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「連続受診者数」) / (当該年度の対象者数) × 100

※精密検査受診結果については令和5年7月4日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(令和2年国勢調査)+農林水産業従事者数(令和2年国勢調査)

※( ) (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

### 無料クーポン券利用状況

対象者数 3,875人    利用者数 533人    利用率 13.8%

年齢別検診結果及び精密検査受診結果（令和5年7月4日現在）

（単位：人・％）

区 分		総 数	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上		
受診者数		5,022	988	711	652	656	610	618	787		
	（再掲）初回受診者数	2,539	757	327	307	290	293	252	313		
	初回受診割合	50.6	76.6	46.0	47.1	44.2	48.0	40.8	39.8		
検診結果	精検不要者数	4,586	870	628	593	607	563	583	742		
	要精検者数	436	118	83	59	49	47	35	45		
	要精検率	8.7	11.9	11.7	9.0	7.5	7.7	5.7	5.7		
精検受診者数		409	108	78	58	44	46	34	41		
精密検査結果	乳がん	14	-	1	2	2	2	1	6		
	線維腺腫	45	15	9	4	5	6	1	5		
	乳腺症	100	24	33	17	5	6	9	6		
	その他	34	12	6	7	3	3	1	2		
	乳がん疑い	5	2	-	2	1	-	-	-		
	異常なし	211	55	29	26	28	29	22	22		
実施方法別内訳	個別検診	受診者数	4,059	837	564	548	529	494	490	597	
		（再掲）初回受診者数	1,962	641	243	237	221	220	178	222	
		初回受診割合	48.3	76.6	43.1	43.2	41.8	44.5	36.3	37.2	
		検診結果	精検不要者数	3,692	735	493	494	493	454	460	563
			要精検者数	367	102	71	54	36	40	30	34
		精検受診者数		346	95	66	53	32	39	30	31
		精密検査結果	乳がん	10	-	-	2	1	2	1	4
			線維腺腫	30	12	6	2	4	4	1	1
			乳腺症	84	20	28	15	3	6	7	5
			その他	28	11	5	7	1	2	1	1
	乳がん疑い		5	2	-	2	1	-	-	-	
	異常なし	189	50	27	25	22	25	20	20		
	集団検診	受診者数	963	151	147	104	127	116	128	190	
		（再掲）初回受診者数	577	116	84	70	69	73	74	91	
		初回受診割合	59.9	76.8	57.1	67.3	54.3	62.9	57.8	47.9	
		検診結果	精検不要者数	894	135	135	99	114	109	123	179
			要精検者数	69	16	12	5	13	7	5	11
		精検受診者数		63	13	12	5	12	7	4	10
		精密検査結果	乳がん	4	-	1	-	1	-	-	2
			線維腺腫	15	3	3	2	1	2	-	4
乳腺症			16	4	5	2	2	-	2	1	
その他			6	1	1	-	2	1	-	1	
乳がん疑い	-		-	-	-	-	-	-	-		
異常なし	22	5	2	1	6	4	2	2			

⑥ 胃がんリスク検診（胃の健康度検査）

平成 24 年 10 月より、従来の胃がん検診に加え胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を導入した。胃がんリスク検診は、胃がんリスクの高い人を早期に発見し、医療につなげることで、胃がんの死亡率の減少を図ることを目的に実施している。令和 3 年度までは当該年度において 41 歳から 61 歳の 5 歳刻みの年齢を対象に実施していたが、令和 4 年度からは対象年齢を拡大して実施している。

対象者 当該年度において 40～60 歳の市民

ただし、過去に胃がんリスク検診を受診したことがない者に限る。

実施方法 医療機関委託による個別方式

実施期間 令和 4 年 6 月から令和 5 年 3 月 31 日まで

検査内容 血清ペプシノゲン検査、血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査

検診料 1,300 円

（ただし、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果（令和 5 年 7 月 4 日現在）

（単位：人・％）

区 分	総 数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～60 歳				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
受診者数	181	47	134	10	36	8	28	15	45	14	25		
検診結果	精検不要者数 A群	154	43	111	10	29	8	22	13	38	12	22	
	要精検者数	27	4	23	-	7	-	6	2	7	2	3	
	内訳	B群	14	3	11	-	2	-	3	1	5	2	1
		C群	13	1	12	-	5	-	3	1	2	-	2
	要精検率	14.9	8.5	17.2	0.0	19.4	0.0	21.4	13.3	15.6	14.3	12.0	
B群	精検受診者数	12	3	9	-	2	-	3	1	3	2	1	
精密検査結果	B群	胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		胃がん以外の疾患	11	2	9	-	2	-	3	1	3	1	1
		異常なし	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
C群	精検受診者数	10	1	9	-	3	-	2	1	2	-	2	
精密検査結果	C群	胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		胃がん以外の疾患	10	1	9	-	3	-	2	1	2	-	2
		異常なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

検診後の除菌状況（令和 5 年 7 月 4 日現在）

（単位：人）

区 分	総 数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～60 歳			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
除菌者数	15	2	13	-	5	-	3	2	3	-	2	
内 訳	B群	8	1	7	-	2	-	2	1	2	-	1
	C群	7	1	6	-	3	-	1	1	1	-	1

(8) 健康診査

平成 18 年の医療制度改革において老人保健法が高齢者の医療の確保に関する法律に全面改正され、医療保険者に、40 歳以上 74 歳以下の被保険者及び被扶養者に対する生活習慣病予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導が義務付けられた。これに伴い、老人保健法に位置づけられていた事業のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に定められたもの以外については、健康増進法に基づく健康増進事業として市町村が引き続き実施することとされた。これにより平成 20 年 4 月 1 日から大津市国民健康保険の保険者として特定健康診査及び特定保健指導を、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け後期高齢者医療制度の被保険者を対象とした健康診査を実施している。また、医療保険に加入していない生活保護受給者等を対象とし、健康増進法に基づく基本健康診査を実施している。

① 後期高齢者健康診査

**対象者** 滋賀県後期高齢者医療制度被保険者

(ただし、平成 27 年度より、委託元である滋賀県後期高齢者医療広域連合の方針に従い、要介護認定を受けている者及び生活習慣病により定期的に受診している者は対象外)

**実施場所** 県内登録医療機関において実施

**実施期間** 令和 4 年 6 月から令和 5 年 1 月 31 日まで

**健診内容** 基本項目 (問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査)

(受診状況) 対象者数 13,885 人 (令和 4 年度)

区分	総数	65～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100 歳以上
受診者数 (人)	3,626	14	2,178	981	325	107	21	-
受診率 (%)	26.1							

② 基本健康診査

**対象者** 当該年度において 40 歳以上で医療保険に未加入の大津市生活保護受給者等

(ただし、75 歳以上の者については、後期高齢者健康診査の対象者の変更に併せ、要介護認定を受けている者及び生活習慣病により定期的に受診している者は対象外)

**実施期間** 令和 4 年 6 月から令和 5 年 1 月 31 日まで

**健診内容** 基本項目 (問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査)

追加項目 (血液検査&尿検査) ※75 歳未満、(血液検査) ※75 歳以上

詳細項目 (心電図検査、眼底検査、貧血検査) ※75 歳未満の該当者のみ実施

保健指導 ※75 歳未満の該当者で希望する者を実施

(受診者数) (令和 4 年度)

区分	総数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70～74 歳		75 歳以上		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
対象者数 (人)	2,859	1,395	1,464	65	69	90	106	137	138	155	135	159	116	167	103	250	213	372	584
受診者数 (人)	264	132	132	3	9	4	6	16	12	18	10	19	12	13	16	21	25	38	42
受診率 (%)	9.2	9.5	9.0																